

菊池市議会報告会



菊池市議会報告会



令和元年度議会報告会「意見交換会」(菊池市文化会館小ホール)

菊池

題字/菊池南中学校3年 菊野 百さん

議会だより

Vol.60 12月定例会

令和2年2月1日号

トピックス

議会報告会開催

P15~17

一般質問

12人が市政を問う!

P8~14

常任委員会報告

P4~6

可決

令和元年度一般会計補正予算

P3

令和元年 第3回 定例会

この定例会では、令和元年度菊池市一般会計補正予算をはじめ、特別会計補正予算、条例など29議案が提案されたほか、請願1件、陳情1件も慎重に審議しました。また、報告が3件ありました。追加議案として条例案1件、一般会計補正予算1件、議員提出の決議案1件が提出されました。

審議の結果、決議案第3号を除き、原案のとおり可決・採択しました。決議案第3号は否決となりました。

主なものは以下の付議事件一覧及び審議結果表のとおりです。

開催日：11月29日(金)～12月20日(金)

令和元年第3回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

議案番号	議案名	結果
議案第62号	菊池市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について (P4参照)	原案可決
議案第63号	地方自治法及び地方公務員法の一部改正等に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
決議案第3号	菊池市中央図書館の閲覧用椅子購入に関する調査に関する決議	原案否決

賛否表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 除は除斥

議案	結果	議席番号 表決数 賛成 反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	17	18	19	20
			田中教之	福島英徳	緒方哲郎	後藤英夫	平直樹	東奈津子	坂本道博	水上隆光	猿渡美智子	松岡讓	荒木崇之	工藤圭一郎	城賀典一	大賀慶一	水上彰澄	二ノ文伸元	泉田栄一朗	木下雄二	山瀬義也
			第3回定例会	可決	17対2	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
	可決	17対2	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	否決	5対14	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●	○	●

※除斥：議案と一定の利害関係を持つ議員は、当該議案の審議・採決に参加することができない。

上記以外の議案は、全会一致で可決しました。

各種委員選任

令和元年第3回定例会の人事案件について、議会が選任同意したのは、次のとおりです。

(敬称略)

人権擁護委員	櫛川健治	菊池市西寺	新任
人権擁護委員	牧美代志	菊池市七城町砂田	再任
人権擁護委員	上野恵里子	菊池市旭志麓	再任
人権擁護委員	北川敬司	菊池市泗水町富納	新任

令和元年度一般会計補正予算（第8号） 可決

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億4,049万7,000円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ295億4,099万2,000円とするものです。

主な補正内容

○消防施設整備事業 **1,151万1,000円**

消防法による消防水利が不足している地域に対し、防火水槽並びに消火栓の設置を行うものです。また、地区が設置した消防施設については、助成を行います。

小型ポンプ、消防積載車、消火栓、防火水槽等の施設の充実を図ることにより、火災現場での初期消火活動が円滑に行われ、被害が軽減されます。

- ・防火水槽撤去及び設置工事（七城町西郷地区）
- ・防火水槽修繕工事 2ヶ所（七城町前川地区、菊池市篠倉地区）
- ・消火栓負担金



○災害対策経費 **466万6,000円**

全国的に災害が頻発しているなか、災害時の迅速な組織体制の確立や、住民のスムーズな避難行動が行えるよう、防災訓練等を実施することは必要不可欠です。そのため、市役所組織内の図上訓練及び住民参加型の総合防災訓練を定期的を実施するものです。

事業内容としては、職員時間外手当、自主防災組織設立促進補助金があります。

これらの取り組みにより、防災に関する意識と知識の向上及び各種団体との連携強化を図ります。また、自主防災組織の設立推進を促進し、地域住民の共助による連携強化を図ります。

○多面的機能支払事業 **890万円**

農地・農業用水等の基礎的な保全活動を通じ、多面的機能の維持・発揮、地域振興に役立てることを目的として、地域ぐるみでの共同活動や、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う活動組織を支援するものです。

事業内容としては、農地維持支払、資源向上支払（共同活動）、資源向上支払（長寿命化）、推進事務経費があります。

事業の効果として、地域ぐるみによる農地・水・農村環境の保全向上が促進されます。また、組織の広域化の推進により、取り組み面積の拡大と地域ぐるみでの取り組みが醸成されます。

○アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業 **4,480万円**

現在、国内及びアジア地域の養豚業において、2種類の家畜伝染病が蔓延しています。そこで、豚コレラの蔓延の原因となっている野生動物の侵入を防ぐために、養豚農場への柵の設置が義務化されます（令和2年4月予定）。その対策として、国・県が柵の設置事業費の補助を行いますが、市内の養豚農家に対し、市がさらに上乘せの補助を行うものです。

市内の養豚農場が防護柵を設置することで、野生動物が侵入することによる豚コレラの蔓延を防止し、柵の設置に補助を行うことで、養豚農家の経営安定を図ります。

総務文教常任委員会

委員長／水上 隆光 副委員長／東 奈津子 委員／田中 教之、松岡 譲、工藤 圭一郎、城 典臣、大賀 慶一

議案第62号 菊池市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について 可決

地方公務員の臨時、非常勤職員について特別職の任用の適正化を確保し、一般職の会計年度任用職員の任用等に関する制度の明確化や、給与等の支給について規定を整備するものです。

委員「菊池市が合併してから正規と非正規の割合を教えてください」

執行部「平成27年度正規職員が485人、臨時・嘱託が335人。平成28年度478人と362人、平成29年度が483人と375人、平成30年度が485人と375人、平成31年度が487人と366人である。平成27年度に比べ、平成31年度における臨時・嘱託の割合が若干増加傾向にある」

委員「期間が1年ということで雇い止めの危険性があると思うが、市としてはいつでも雇い止めする可能性はあるのか」

執行部「基本的には会計年度の任用職員となるので年度中が任期となる。能力等により引き続き雇用が可能と判断されれば任期の更新はできるとしている」

反対討論「条例案では、勤務条件の前進面もあるが、非正規職員に対して法的な根拠を与え非正規化を合法化し、正規職員の非正規化を進めることにつながりかねない。また、1年限定の雇用制度であり、限度を定めて雇い止めすることにもつながる。フルタイムとパート勤務の区分があり、新たな格差が生まれる懸念もある。今求められているのは、任期の定めのない常勤職員を中心とした公務運営の原則を堅持すること、そして、非正規職員を正規化すること、非正規職員の雇用安定、待遇改善を図ることである」

賛成討論「今回の条例制定は、正規でない方への処遇を改善するという一点であり、条例制定に関しては賞与が出る点は非常に大きいと思うので、制定することはいいかと思う」

採決の結果、議案第62号については賛成多数により可決すべきものと決定しました。

請願第2号 「菊池地域農業協同組合住吉農業倉庫跡地購入」に関する請願 採択

泗水東小学校南側にあった菊池地域農業協同組合住吉農業倉庫の跡地は、自然災害等、有事の際の校区民の避難場所として、また送迎の際の乗降車場や行事等の際の臨時駐車場、さらに見学旅行等の貸し切りバスの待機所・乗降車場等として利用されていました。今後の土地利用いかんによっては安全な乗降車等ができなくなり、園児並びに児童の活動が制限されることが危惧されるため同地を購入し、今まで通りの使用・活用を請願するものです。

委員「農業倉庫跡地ということで菊池小学校はどういう形になっているか」

執行部「JAの所有地となっている。土地については地元の区長、校長とJAの組合長の連名により無償で貸与してある状況である」

委員「市も財産を減らす方向であり、できればその方向も頭にいれながらと思うが」

執行部「防災の面からすると、浸水想定区域に隣接している地域であり、避難場所として整備することは防災上の観点からも難しいと考える。保育園等については、近隣の小学校を利用されている状況があり、まずは小学校の空きスペースの有効活用から検討したい」

委員「地域の方々が一緒になってどうにか考えたいとの請願であり、学校としては十分な機能をつくつてあるが、あの水害の時の状況を見ておられるので余計に心配であり、地元の思いを分かっただけでほしいとの請願でもあるので、採択してあげたい思いである」

採決の結果、全員意義なく、採択すべきものと決定しました。



泗水東小学校南側にある JA 倉庫跡地 ▶

福祉厚生常任委員会

委員長／猿渡 美智子 副委員長／泉田 栄一郎 委員／福島 英徳、水上 彰澄、二ノ文 伸元、山瀬 義也

議案第65号 菊池市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例の一部を改正する条例の制定について 可決

新たに資源ごみ袋（極小）を作成するために、条例の一部を改正するものです。令和3年4月から菊池全域が、菊池環境保全組合による新環境工場に加入することに伴い、菊池・七城・旭志地区のごみの分別が変更となり、特に資源物の出し方が細分化することになります。量が溜まりにくい牛乳パックなどの資源物や、高齢者や少人数世帯などごみの量が少ない世帯が排出しやすいように作成するものです。

委員「資源ごみ袋（極小）の大きさは、今までの一般ごみ袋の半分くらいなのか」

執行部「大きさについては、現在ある（大）が45ℓ、（小）が30ℓ、（極小）については15ℓを考えている」



議案第66号 菊池市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 可決

令和元年8月1日より施行された災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。内容は、災害援護資金の貸し付けに係る償還金の支払い猶予について、支払期日に償還金の支払いが著しく困難になったと認められるときには、1年間支払いを猶予することができること。また、償還免除については、これまでの死亡や重度障害のほかに、破産手続きの開始、再生手続きの開始が追加されたこと。また、市が償還金の支払い猶予や償還免除をするか否かを判断するにあたり、貸し付けを受けた方や、保証人の収入などの資産状況を把握できるようにしたこと等です。

委員「災害援護資金について、実績として菊池市ではどのくらいの件数の対象者がいるのか。また、返還が難しい状況にある方はいるのか」

執行部「貸付件数は4件、残高は436万4,530円である。現状として貸し付け年月日が古く、長い年数が経っているため、貸し付けを受けた方が死亡しているものが2件、債務を認めない方が1件、返済が滞っている方が1件、その内2件が執行停止となっている。当時は予想していなかった出費がかさんでいたり、収入が減少したために返済が滞っている状況である。災害援護資金は市債権であるので、滞納処分ができない状況でもある。今後は市の債権マニュアルに基づき徴収困難者の状況を把握しながら対応していきたい」

経済建設常任委員会

委員長／坂本 道博 副委員長／後藤 英夫 委員／緒方 哲郎、平 直樹、荒木 崇之、木下 雄二

陳情第4号 有害鳥獣被害防止対策に関する陳情 採択

菊池市管内において、近年、鳥獣被害により、飼料用とうもろこしを中心に農作物被害の報告が多数寄せられており、今後も多大な被害が予想されます。現在、行政による対策はありますが、今後、被害の拡大を防ぐために新たな対策を追加しなければ、畜産農家、普通作農家の所得の減少等に大きな影響が懸念されるため、捕獲者の育成・確保、捕獲者への報奨金の値上げ等を有害鳥獣被害防止対策に盛り込むことを要望するものです。

委員「この陳情に関して考えると入口と出口があって、入口としては、ハンターを増やしてください、その分のお金を上げてくださいということだと思う。しかし、出口も整備しないと、有害鳥獣を獲ったは良いが、それから先どうして良いか分からないようになってくると思う。それがジビエになるのか何になるのかは分からないが、そこから先の考えを持っているのか」

執行部「有害鳥獣の処理の対策については、今定例会の一般質問において部長から答弁したとおり、ジビエも含めて総合的に検討していくところである」



委員「まずは有害鳥獣の頭数を減らすことが一番の打開策であると思う。頭数が出て一年間の報奨金が終わった後は補正を組んで、それに見合う報奨金はやっていかないと、報奨金がないから獲らないとハンターの方々は言われている。そういうときこそ補正を組んでハンターの方々の要望に応じていかないと、抜本的な対策にはならないと思う」

執行部「昨年度の実績に併せて、今年度の報奨金は30万円ほど増額しているが、予算の範囲内での支給となっているため、捕獲頭数が多くなった場合は十分な支払いが行われていないのが現状である。これについては9月定例会での一般質問で答弁したとおり、前向きに検討していきたい」

採決の結果、全員意義なく、採択すべきものと決定しました。

予算決算常任委員会

委員長／平 直樹 副委員長／松岡 譲 委員／議長を除く17名

議案第69号 令和元年度菊池市一般会計補正予算（第8号） 可決

●東京 2020 オリンピック・パラリンピック事業 1,339万9,000円

来年5月7日に実施される聖火リレーに係る経費です。内訳として、東京オリンピック2020聖火リレー熊本県実行委員会負担金1,119万9,000円は、聖火リレーの通過市町村ごとに費用を積み上げ算定されたもので、市の実行委員会負担金220万円は、本市における聖火リレーの出発地及び到着地のセレモニーの費用と、8月13日から15日の間に実施する予定のパラリンピックの採火式の費用です。

委員「一生に一回あるかないかのイベントであり、予算を使ってやろうという事業だが、盛り上げる大事さもあるが、安全対策面ではイメージより大きい予算となっている。地元みんなで盛り上げながら協力し、安全対策が図られる体制をつくっていかねばと思うがいかがか」

執行部「予算上は最大限の見積もりを行っている。できるだけ軽減できる部分は軽減していくよう努めたい。子どもたちをはじめ市民の皆様の心に残るような聖火リレーにしていきたい」



●清掃総務一般経費 24万2,000円

来年度1年間、七城・菊池・旭志地区において、新しいごみ分別方法の試行が行われますが、円滑な移行に向けた対策として実施される、スマートフォンやタブレット用のごみ分別アプリを導入する委託料と使用料です。現在増えている外国人への対応としても、アプリの中に簡易版ですが、メニューから各言語を選択して対応できるようにしたいと考えています。

委員「従来のごみの出し方で出す人もいると思うが、どう対応するのか」

執行部「違反したごみについては『こういったことで間違っています』というようなシールをまず貼って周知するような方法を取っていききたい。また、分別が悪いところについては、区長や生活環境委員と個別に話しをしたりすることで周知を図っていききたい」

委員「外国人の方へのアプリの周知はどのようにするか」

執行部「外国人の方が転入されるときには市民課に来られるので、そのときに周知することと、各企業に研修生などとして来られるので、企業に連絡して周知したい」

●アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業 4,480万円

12月4日現在で、9つの府県で豚コレラが50事例発生しており、累計頭数は15万1,475頭となっています。まん延する原因である野生動物が農場へ侵入するのを防ぐため、養豚農場への柵の設置が令和2年4月より義務化されます。その対策として、国が事業費の2分の1、県が3分の1、市が10分の1を補助し、農家負担を6.7%に軽減するものです。

委員「既存の柵の設置は、受益者が自分達で作業して設置すれば、最終的には負担がなくなるようになっている。今回の場合、受益者が自分達で設置すれば6.7%の負担はなくなるのか」

執行部「補助額については防護柵と可動柵に分かれており、畜舎外周の防護柵は1メートル当たり5,000円が上限となっており、出口部分の可動柵は1メートル当たり2万円が上限となっている」

総務文教常任委員会所管事務調査報告書 (概要)

調査理由

菊池市中央図書館における閲覧用イス32脚について、平成29年度に行われた契約変更後の輸送料等の諸経費について、積算根拠や輸入の事実を確認することなく支払いを行ったことに対して疑義が生じたため。

調査結果

- ① 会計事務、契約事務不備があると認められた。
- ② 今後早急に会計規則の改正を行うことを強く指摘した。
- ③ 上記2点について執行部より謝罪があり、今後適正処理を行うことを確認した。

特に、輸送費の金額について積算根拠に妥当性を見いだすことができず、備品等納入検査において輸送費を確認することが会計規則に定めがないことは問題である。

期間:令和元年9月13日から11月14日まで

調査内容(質疑等抜粋)

1回目:疑義内容の確認、資料提出要求

執行部「(新聞報道について)一般的な物品納入の場合を言ったものであり、本市の会計規則で定められていないことを申し上げたものである。しかしながら、今回のような海外からの輸入に関して別途輸送費等がかかる場合など、輸入事実の確認なども含めて必要書類を取るなどの確認を行いたいと考える。お詫びして訂正申し上げる」

2回目:インボイス、当初計画、変更契約書を調査

委員「輸送費については何も根拠がない」

執行部「(変更契約書記載の輸送費を含む諸経費67万円について)図書館のほうで妥当性を確認して変更契約を行っている」

委員「何をもちて妥当性があると判断されたのか」

執行部「航空輸送会社の運賃表をもとに約80万円と計算し、仕様書の中で67万円ぐらいまでは下がるだろうということだったので、67万円を基準として確認した」

3回目:契約時の諸経費、変更設計額67万円の内訳および積算金額の妥当性について調査

執行部「1点目の当初契約時の物品単価に諸経費が含まれているのかについては、乃村工藝社よりコンプライアンスの関係上お答えできないとのこと。2点目の内訳については、確認資料から試算し、航空運賃が54万5000円、陸路輸送費10万5000円、設置費が2万円と見込まれる」

委員「積算基準も計算式もない起案文章の中で事務をされている。金額が妥当であれば、妥当であるとの書類をつけるべき。行政の事務処理としては適正なのか」

執行部「ご指摘のとおりである。積算の内容を確認しながら今後は行っていきたい。住民監査請求における監査結果の中でも適正な契約事務を徹底されたいという指摘もあり、今後はこのようなことがないように契約事務を含めて適正処理にあたっていきたい」と謝罪。

総務文教常任委員会 委員長 水上 隆光

12人が市政を問う

一般質問

質問者	質問事項	P	質問者	質問事項	P
①城 典臣	1.高齢者福祉について 2.ドライブレコーダーについて 3.支所が支所方式で運用しているが、問題はないか 4.各種市民サービスの進捗状況は	9	⑧大賀 慶一	1.本市の窓口業務改善について 2.河川の安全対策について 3.学校安全施設の充実について	12
②平 直樹	1.学校給食について 2.菊池夏まつりについて	9	⑨東 奈津子	1.学校給食について 2.高齢者支援について	13
③泉田栄一郎	1.魅力ある街づくりについて 2.「あいサポート運動」について	10	⑩福島 英徳	1.平成30年度の癒しの里きくち創生総合戦略における、効果検証報告書の内容について 2.七城ふるさとコスモスまつりのあり方について 3.各種委託料について	13
④猿渡美智子	1.災害に強いまちづくりについて 2.共生社会実現のための言葉の課題について 3.給食費の徴収について	10	⑪荒木 崇之	1.菊池市中央図書館の閲覧用椅子購入にかかる入札問題について 2.住宅型有料老人ホームの入居者への虐待について	14
⑤水上 隆光	1.支所について 2.空家対策について 3.有害鳥獣対策について 4.道路整備について	11	⑫木下 雄二	1.世界かんがい施設遺産登録について 2.防犯灯、街路灯の現状と今後の対応について 3.森林環境譲与税の活用について 4.市役所庁舎庭園の整備について 5.スペインスエカ市との交流の現状について 6.竜門ダム市町村交付金の竜門地域への活用について	14
⑥田中 教之	1.菊池一族プロモーション室について 2.菊池市3高校魅力化推進事業について	11			
⑦緒方 哲郎	1.中山間地域について 2.クリーンセンター花房建設に伴う花房地区からの要望について 3.地域包括支援体制について 4.災害時における避難所について 5.鳥獣害対策について	12			

議会をインターネットで!!

菊池市議会ホームページより
議会録画中継がご覧になれます。

高齢者福祉について



をしながら、安定的な運営に協力していきたい。

ドライブレコーダーについて

城 民営化した養護老人ホームの状況について、二施設が民営化したが、いずれも定員割れしており、民営化して市の持ち出し財源が減って良かったではないかと思う。運営協定書が市と施設で結ばれているが、協力して効率的かつ安定的な運営を行うよう努めるとある。市の今後の協力を願う。

市長 養護老人ホームは、経済的に困窮されている高齢者を受け入れるセーフティネットの役割を果たす大切な施設だと考えている。県内でも入所者が減少している施設も少なくないが、本市では、運営協定書に「入所を真に必要なとする人のニーズを把握して適切な措置を実施する」としてある。本当に必要な方が入所できるように、入所基準に基づいて適切な措置を行い、施設と常に協議

城 公用車のドライブレコーダー搭載車は、その後増えたか。また、警察との連携で防犯や事故防止につながると考えるかどうか。

総務部長

ドライブレコーダーは、実際の事故映像が記録されるので、万が一の交通事故の際は、その後の迅速な事故処理につながるメリットがあり、また記録されることで、あらかじめ意識して運転することになり、安全運転の励行につながると考えている。その上で、警察等の協議については、今後、先進事例も踏まえ、必要に応じ研究・検討したい。

城 各種市民サービスを進捗状況について



の申請状況とマイナンバーカード普及啓発の進捗状況はどうなっているか。

経済部長

プレミアム付商品券の申請状況については、11月25日現在、非課税者1万1,899名中3,721名が申請をしており、申請率でいうと31.3%である。

市民環境部長

現在、総務課のみで行っているオンライン申請サポートを、令和2年1月より、本庁市民課及び各支所でも受け付けができるように拡大する方針である。また、年明けに、広報紙等により、本庁及び各支所においてマイナンバーカードオンライン申請が行えることや、通知カードを持つことや、通知カードを持参すれば申請ができる旨の周知を行い、取得率の向上に努めたいと考えている。

市長 プレミアム商品券

学校給食について



組み合わせ食品の不存在は確認できないということになると思うので、実情に応じて、極力控えたものに改定したものである。

また、数値的なところについては、特段持っていない。

平 学校給食で使用する食材の基準を明記した「物資納入基準書」全体共通事項6「遺伝子組み換え食品を極力控えたものとする」と緩和された理由は何か。極力の数値は。本基準書の運用方法は。遺伝子組み換え食品をどう捉えているか。基準パンの原材料を県産国産の小麦に変えて欲しい旨の要望書を県に出す考えは。遺伝子組み換え食品についての極力控えるというものを元通り不使用という改正をする考えはないか。

教育部長 油やしょうゆなどは製造の過程で組み込まれた遺伝子や、その遺伝子がつくる新たなたんぱく質が技術的に検出できない場合には、遺伝子組み換え表示は義務づけられていない。加工食品については、その主な原材料に当たらない場合は、表示が省略できることになっている。加工品等の食品の流通過程のもと、原材料というものであれば、添加物や遺伝子

市長 不使用とする改正については、今、質問をいただいたばかりなので、この場でイエスともノーとも言えないが、今、私も運営しているのは、調味料など、表示義務のないものについて、遺伝子組み換え



が本当になされてないものだけであるかがトレースできないという技術的な問題があるためであるので、トレースができるもの、表示があるものについては、全て遺伝子組み換え食品を扱わないことは分別して、少し表示を変えるということでも対応できるのではないかと考えている。その方向で検討させていただきたい。

菊池夏祭について

平 運営費や警備費をまかなう為に、升席販売をする考えは。

経済部長 菊池の夏まつりの打ち上げ花火については、ほかと違い、打ち上げる高さに制限があるため、観覧者が比較的花火を近くで見ることができ、ほかと大きな違いがあるところが好評を得ているところである。升席の導入については、観覧者の安全性の確保、観覧者にとって特別感が生まれるかどうかなど、今後まつりの実行委員会関係者と協力して検討したい。

市長 菊池の夏まつり

「菊池屋台」で街の活性化を!



「菊池屋台」で街の活性化を!

建設部長 本年度、国

泉田 ふるさと創生市民広場では、既存の菊池観光物産館と情報交流館がリニューアルし、遊具施設と大屋根広場は電気も完備し、夜の利用が可能になった。本市の農産物をふんだんに使った「菊池屋台」で観光や宿泊客、外国人、市民が楽しめる憩いの空間づくりをする考えは。また、菊池らしい風情のある景観づくりで、今後の街並み整備についてどう考えているか。

経済部長 温泉街に通じる温泉街テラスについては、屋台や移動販売などのキッチンカーを出店するスペースとして準備をしている。温泉街の観光客と市民広場をつなぐ重要な役目も持っているという施設である。今後、観光協会あるいは商工会などを通じて、キッチンカーの出店やスペースの準備について周知をしながら、市民広場と温泉街の連携を図っていきたくと考えている。



▲市民広場でのイベントの様子

は「居心が良く歩きたくなる街なか」の形成を目指すということで「ウォーカーブル推進都市」を全国の自治体に募集し、本市もこれに賛同して、本年9月に推進都市となったところである。街なかを車中心から、ひと中心の空間へ転換するとともに、道路が単なる通行する場所としてではなく、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げることが出来る場として改変する計画である。この推進都市に加入したことで、先進自治体の情報や、国の情報が入りやすくなるというメリットがあるの

で、今後、街並み景観の計画に役立てていく考えである。

あいサポート運動について

泉田 障がいのある人も共に助け合い、生活する共生社会という観点から、様々な障がいの特性を知り、社会生活の色々な場面を想定した身近な心配り等を学ぶ研修「あいサポート運動」に取り組む考えはないか。

市長 共生できる社会づくりは、これから大事になると思う。特にいろんなニーズが多様化しているから、そうしたことを抱合しながら、みんなが安心して住めるまちというところが非常に大事だと思っている。「あいサポート運動」というのは、詳細をよく吟味して、今言ったことに対しての具体的な手がかりになるのであれば、前向きに進めていきたいと感じたところである。

総務部長 「やさしい日本語」については、外国人の方にわかりやすい日本語として他の自治体でも活用されていることから、先進事例を参考にしながら、活用について研究を進めたいと考えている。あわせて、障がいのある方や高齢者についても「やさしい日本語」の活用について、調査研究を進めたい。

行政はわかり易い言葉で



より徴収・管理)を促進するためのガイドラインを出した。菊池市は公会計化の考えはあるか。

教育部長 学校給食費の徴収金に係る公会計化については、学校現場でも徴収金の滞納者への督促等に大変苦勞しており、時間的にも精神的にも負担が大きいと聞いている。

猿渡 外国人にもわかり易く書きかえた「やさしい日本語」が全国に広がっている。増加する外国人や、言葉の理解に困難を抱える市民のために「やさしい日本語」について、どのように考えるか。

総務部長 「やさしい日本語」については、外国人の方にわかりやすい日本語として他の自治体でも活用されていることから、先進事例を参考にしながら、活用について研究を進めたいと考えている。あわせて、障がいのある方や高齢者についても「やさしい日本語」の活用について、調査研究を進めたい。

猿渡 給食費の徴収について文科省は今年7月に、公会計化(自治体に



多々あったが、住民参加の意義はもつと実践化すべきと感じた。住民の防災力をステップアップする場になるように工夫して取り組むべきではないか。

また、納付方法のほうも多様化して、保護者の利便性を向上させることができるかとされている。そのほか、学校給食費の管理における透明性の向上や学校給食費の徴収における公平性の確保、学校給食の安定的な実施などが挙げられており、示されたガイドラインを見ても必要であるということとは認識しているが、システムの構築や人の配置など、いろいろなことを考慮する必要があると考えている。

猿渡 総合防災訓練に参加して、評価する点も

総務部長 観覧者を含め、会場の方には訓練内容や受付、避難所設営に関して、防災士等も入って説明を行ったが、わかりにくい点もあったので、今後改善したい。防災・行政ナビについても、周知を行ったが、直接入力作業を手伝う等までは至ってなかったもので、この辺も含めて今後の訓練に役立てていきたい。

さらに、自主防災組織や防災士の方々の協力を初め、学校とも連携し地域の防災力向上に取り組んでいきたい。

水上 隆光 議員

支所について



水上 七城・旭志・泗水各支所の支所長から見ても、三年目となる総合相談員は、十分に役割を果たしているか。

七城支所長 豊富な行政経験と人的ネットワークにより相談内容を的確に把握、事務処理もおこない、かつ支所内の事務及び職員の管理等についても助言や指導を行っており、十分役割を果たしている。

旭志支所長 長年にわたる行政経験を生かし、嘱託員と緊密に連携をとりながら信頼関係も構築し、十分機能していると認識している。

泗水支所長 業務遂行については、本庁担当課と常に協議しながら業務を進めており、十分その機能を果たしている。

を進めており、十分その機能を果たしている。

空家対策について

水上 玉名市は老朽危険空家等除却促進事業として60万円、12戸分を計上しているが、本市の補助金の内容は、また、この事業を若者の宅地につなげられないか。

建設部長 本年8月に菊池市空家等撤去補助金交付要綱を制定しており、補助の概要としては、危険空家等の解体撤去工事に係る経費の2分の1、それから補助限度額については50万円としているところである。

市長 この補助金を活用して、危険空家対策を促進し、防犯、防災、衛生及び景観等の生活環境の保全に努めたい。また、空家の有効活用についても、定住支援室を通じて積極的にやっていきたい。

また、国道と県道の交差点についても、県北広域本部土木部のほうに確認をしており、一応信号機をつけることで施工予定ということで回答をいただいている。



道路整備について

水上 県道旭志鹿本線の進捗状況は。また、国道325号の四車線化で、県道と国道の交差点の計画では信号機がつくのか。

建設部長 県道旭志鹿本線については県の管理となるので、県北広域本部土木部に確認をしたところ、6月に地元説明会を開催して、境界立ち会い等の用地測量を実施したところで、現在は用地交渉を進めている状況である。

また、国道と県道の交差点についても、県北広域本部土木部のほうに確認をしており、一応信号機をつけることで施工予定ということで回答をいただいている。

また、国道と県道の交差点についても、県北広域本部土木部のほうに確認をしており、一応信号機をつけることで施工予定ということで回答をいただいている。

田中 教之 議員

菊池一族プロモーション室について



田中 今年度の成果と今後の取り組みについて。今後、偉人の顕彰会事務局を担い、観光と教育の融合など部署を超えた活動ができるように、プロモーション室を組織変更できないか。

総務部長 組織については、必要に応じ、検討していきたい。

今年度の成果と今後の取り組みについて。今後、偉人の顕彰会事務局を担い、観光と教育の融合など部署を超えた活動ができるように、プロモーション室を組織変更できないか。

市内3高校魅力化について

田中

魅力化のひとつとして、菊池らしい海外留学制度を整え、高校生

に支援する予定はあるか。

教育部長 高校生の海外留学を支援することはできないかということだが、高校生の海外留学に対して、市が直接支援を行う予定は、今のところ、考えてない。

高校生の海外留学に支援する予定はあるか。

教育長

留学支援と、それから3高校の魅力化を結びつけるような話や、あるいは、観光、教育を結びつけるというふうな例を出していただきた。これらについては参考にしていきたいと思う。

ただ、魅力づくりの主体が高校であり、熊本県ということになる。現在、熊本県教育委員会においても、高校活性化推進事業を今年度スタートさせており、そういう県の動きにも注目しながら、高校側の意見を伺い、菊池市を初め地域住民、それから、先ほど紹介のあった企業等が何ができるのか、しっかり話し合いながら実践していきたいと考える。



中山間地域について



緒方 中山間地域直接支

払い制度において、本市の集落協定の現状と課題は。また、支援体制は。

経済部長 本市では、平成12年度から中山間地域等

直接支払事業に取り組んでおり、現在は平成27年から令和元年までの第4期対策として活動がなされている。集落協定数は、第1期対策が85協定、第2期対策が87協定、第3期対策が86協定、現在の第4期対策は84協定となっており、最も多かった第2期対策と現在の協定数を比較すると、3協定が減少している。

中山間地域における高齢化や過疎化を背景とした人員・人材不足を課題として捉えており、支援策としては、中山間地の直接支払等が円滑にいくような形で応援しているところ対策を練っている。

緒方 花房クリーンセンター建設に伴い花房校区より提出された要望において、まだ未達成の花房坂周辺公園整備と花房小学校周辺の駐車場整備について、進捗状況を示せ。



建設部長 花房坂周辺公園の整備については、整備計画についての指摘等があり、一時事業を中断しているが、令和元年9月に地元花房地域振興対策協議会及び花房校区区長の連名により要望書が提出されたので、現地調査に入っている状況である。また11月になり、花房校区の現区長及び前任の区長と、意見交換等を行いながら、今後の進捗等について話をしたところで、今後は、地元と協議を進めながら、事業計画の合意形成に努め進めていくところである。

教育部長 駐車場整備については、現在、地元が希望している候補地に地権者が23名いるので、農地転用を行い、駐車場として賃借することが可能か、交渉を進めている状況である。

緒方 これからの地域づくりの基礎となる地域包括支援体制であるが、その中の地域包括ケアシステムにおける、人材の育成とその確保についての考えを示せ。

健康福祉部次長 本市の地域包括支援センター職員の人材育成としては、研修会の参加や経験のある職員からの助言、スタッフミーティングの実施等により、職員のスキルアップや育成をしている。

人材確保については、ハローワークに募集をかけても応募がない状態が続いており、現在、嘱託職員の保健師1名、介護支援専門員2名が不足している状況である。

今後もし引き続き、ハローワーク等を通じて募集を続けたい。

本市の窓口業務改善と安全対策



窓口業務改善について

大賀 市民が最も利用する市の窓口業務の改善が必要である。中でも家族の死亡時の手続きがこれまで複雑であったが簡素化できないのか。

市民環境部長 「おくやみね」と「菊池」を本年6月から開始している。このシステムは、市民課に提出された死亡届に関する情報を共有フォルダに入力すると、関係各課が確認して必要書類に死亡者情報が入った届出書等を作成する。その際、手続一覧表の部署の欄に丸がつくので、後日、遺族が最初に訪れる部署が、その後の手続の必要な部署へ案内する仕組みとなっている。

が、本市の河川堤防や橋梁の点検等の備えはできているのか。また、竜門ダムの緊急放流時の対策はできているのか。

建設部長 毎年、出水期前に、国・県・市、消防等の関係機関と合同巡視を行っており、本年度は、堤防の危険箇所約10カ所及び河川内の土砂等の堆積状況等を確認した。橋梁の安全性の確認は、平成25年度に菊池市橋梁長寿命化修繕計画を策定しており、平成26年度から5年周期で市内の全橋梁544カ所の定期点検を実施し、危険度の高い橋梁を順次補修工事及び修繕工事等を実施している。

また、竜門ダムの緊急放流に向けた対応としては、毎年関係機関による「菊池川竜門ダム放流連絡協議会」を開催、出水期前には「竜門ダム管理演習」を実施し、実践に即した演習を行っている。また、15カ所の警報局と5カ所の電光掲示板により、周辺住民への周知もしている。緊急放流実施の際には、予測可能な範囲で放流4時間前



▲市役所の窓口業務の様子

には菊池川河川事務所長より市長へのホットラインで連絡及び市役所へ文書での連絡が届くようになっていく。

学校の安全施設充実について

大賀 小中学校の夜間照明や防犯カメラを増設して、子どもや学校施設の安全を図るべきと思うがどのように考えるのか。

教育長 外灯については、小中学校あわせて107基を設置しており、センサライトも20本設置している。防犯カメラの増設については、平成30年度に増設し、現時点で各学校4台ずつ設置していることから、教育委員会としては、十分な設置数と考えているが、今後は各学校の要望を聞きながら、必要に応じて対応したいと考えている。

河川の安全対策について

大賀 全国各地で、台風や梅雨時の大雨により甚大な災害が発生してい

学校給食について



本県学校給食会のほうへ要望をしたいというふう
に考えている。

東 菊池市の学校給食に提供されているパンは9割が輸入小麦である。輸入小麦からは、発がん性が指摘されている化学物質の除草剤、グリホサートが検出されている。直ちに検査を行い、国産小麦100%のパンの提供をすべきと思うかどうか。

また、給食は教育の環境である。食材の安全を徹底する上で仮に保護者負担が増える事があるならば増額は市がきちんと補助をすべきと思うかどうか。

教育部長

市独自で残留農薬の検査を行ってほしいとのことだが、市独自の検査は考えてない。検査については、熊

また、国産小麦100%のパンに変えていくべきではとのこと、熊

本県学校給食会にも尋ねているが、安定供給、それから価格の面、価格に伴う需要があるか、製造面などを考慮しないと一概には言えないとのことである。

給食費が負担増となった場合の市の助成については、学校給食法において、学校給食は保護者負担とするとうたってあるので、市の助成は今のところ考えてない。

教育長

パンについて、国産小麦100%にできないかということについて、小麦の安定供給という問題はあるが、国内小麦の使用率をふやしていく、そういう要望については、今後、学校給食会へ要望していきたいとい



うふうに思っている。

また、米飯給食については、現在も行われているが、価格の面あたり等や原材料の面もあると思うので、これについては、他部署等とも相談しながら考えていきたいというふうに思っている。

高齢者支援について

東 認知症の予防や高齢者の生活の質の低下を防ぐ為にも、菊池市でも加齢性難聴の方へ補聴器購入の助成に取り組みべきと思うかどうか。

健康福祉部次長

加齢による難聴者への補聴器購入に関する助成については、まずは、既に助成をしている自治体の状況を調査しながら、国・県等の今後の方向性を注視したいと考える。

七城ふるさとコスモス祭りのあり方について



福島 今年のもふるさとコスモス祭りは盛況だったと感じたが、その要因と考えられる取り組みを

経済部長

増加した要因については、平成30年度のコスモスウォークラリーからであるが、コースの途中に特産品のメロン、そして、七城米のおにぎりの試食コーナーを設置した。これが参加者から好評を得ていたこともあり、本年度も試食コーナーの設置については、ポスター及びチラシ等で掲載して、こういうものもありますというところで募集をしたことが、増加した要因の一つであると考えている。

福島

冠でもあるコスモスの質が、今年も昨年以上にひどく感じた。合併前の七城町では国土交通省からの委託金を上手に

を映かせていたが、今なぜ同じことができないのか。

建設部長

コスモスの耕うん・種まきについては、七城地区の河川除草作業員が行っている状況である。河川の除草時期と種まきが重なるため、人手が不足し、種まきの時期が少しずれたと聞いている。

また、種まき後の草取りをシルバー人材センターにお願いしている分、以前に比べ市が希望するだけの人員の確保ができず、それだけの草取りができなかったという状況である。

コスモスの咲き方の原因については、土壌の問題、種まきの時期、草取り不足等が考えられるが、特段原因ということになると、特定はできていないが、それらのことが要因ではないかと考えている。

各種委託料について

福島

外部委託が増加しているが、その際費用も含めて検証はしているのか？またコンビニで住民票等各種証明書の交付が可能となったが、開始



▲以前のコスモスの開花状況

からの実態と今後の課題を示せ。

政策企画部長

昨年度末に素案であるが、情報システムガイドラインを作成しており、それに基づき、電算システムの改修委託については、政策企画部において事前に審査をして発注している。内容に疑義が生じた場合には、ICT推進アドバイザーにも相談し、内容費用について助言をもらい、精査をしている。

市民環境部長

導入当初は、コンビニ交付が少なかつたために単価が高かつたが、増えてくると窓口での交付件数が減り、対応等にも効果が上がってくるかと考えている。コンビニ交付については、マイナンバーカードが必要になるので、この推進をする体制をつくっていくところであるが、コンビニ交付手数料を下げるといった事例については、先進事例を研修して、検討をしていきたいと思っている。

図書館椅子(1脚約10万円)の送り状は偽物の疑い!



▲1脚約10万円の高級椅子

荒木 送り状(インボイス)と輸入許可通知書は、重要な部分が修正液で消されているが、誰が?なぜ修正液で消したか?

教育部長 MAGIS社のほうでコンプライアンスや個人情報利用制限のあるもの、機密性の高い情報など、保護すべき情報について判断をされて、提出されたものであると思う。

荒木 インボイスに記載されている椅子(36脚)の重量は134.4kgで

輸入許可通知書では、148.1kgと重さが違う。同じものを輸入しているのに重さが違う理由は?

教育部長 ネット重量の相違についてはわからないが、いずれにしても、閲覧用の椅子のものと同識している。

荒木 インボイスの入統計品目番号は9401-30-00で輸入許可通知書の番号は、9401-90-2および9401-79-2と輸入

統計品目番号に相違がある。番号が違う理由を答

えよ。

教育部長 インボイス

と輸入許可通知書の品番のところが違うところとだが、輸入許可通知書のほうの品番については、9401が椅子の部分、それから、枝番の90-2と書いてあるのは部品等の番号ということで聞いている。

いずれにしても、MAGIS社より公式の文書として提出されたものであり、インボイス、輸入許可書ともに、閲覧用椅子のものと認識をしているところである。

世界かんがい施設遺産に4つの用水群が登録されたが井手を活用した地域活性化策は



木下 令和元年9月、国際かんがい排水委員会が認定する「世界かんがい施設遺産」に菊池市の「築地井手」「原井手」「今村井手宝永隧道」「古川兵戸井手」の4つの用水群が登録されましたが、市として井手を活用した地域活性化策は。

経済部長 菊池のかんがい用水群として登録された4施設については、歴史的、文化的に重要な施設です。で、広く理解醸成を図るとともに、施設の持続的活用、また、施設を核とした地域づくりへの活用をしていきたいと思っています。

木下 地域住民の安全なまちづくりを推進する為には、防犯灯、街路灯の整備を最優先に取り組む必要がある。特に過疎化、高齢化の地域には、LED化による負担軽減が必要だが対策の現状は。

総務部長 防犯灯については、平成28年度に区長に

協力をいただき、防犯灯調査を実施しており、平成28年度時点で設置基数は3,770基となっている。そのうち、LEDの防犯灯は558基。その後、市が区などからの要望によりLED照明に交換等を行った基数は、平成30年度までに613基。また、区が本市の地域づくり補助金を活用されて設置した基数が、平成30年度までに284基ある。これらを合計すると、平成30年度までに1,455基がLED照明となっており、LED化率は、約39%となっている。

木下 龍門地区の区長全員による「龍門ふるさと振興基金設立に関する陳情」が、令和元年11月27日に市長に対して提出されました。龍門地域に暮らす人々の将来を悲観されているの切実な思いであります。市としての対応は。

市長 基金設立の陳情をいただき、区長に、公有資産、国有資産等所在交付金は、国、県には、地方税法で定める固定資産がないので、それにかわるものとしてもらっており、固定資産税の発生したところにその税金を戻すという発想では



▲世界かんがい施設遺産申請添付資料[紙芝居・DVD]

なくて、市全体の発展のために使う一般財源であり、交付金の一部を基金として創設する考えはないことを説明した。

また一方で、実際には今後の発展であるとか、暮らしの改善であるとかについては、具体的に個々に議論していくという話を、実際に、今、寺小野の橋のかけかえをやっているであるとか、やまびこ体育館を避難所として整備をしていくとか、具体的な案件を進めていることを話して、理解をいただいたと思う。施設をどう生かしていくか、そして、それを地域の発展にどうつなげていくかということが一番大事であると思うので、龍門ダム周辺の持っている一番の魅力は、やはり自然の力であり、今、都市部の人たちがこうしたところを観光に訪れたいという気持ちが大変強く、そうしたものをきっちり捉えて、龍門地域、そして市の発展につなげていきたいと考えている。

菊池市議会報告会



菊池市議会は、議会基本条例に基づき、市民参加の促進として、市民の意思を聴取し、議会活動を報告するために、定期的に議会報告会を開催しています。

以前は旧市町村ごとに開催していましたが、昨年度に引き続き、市内の皆様すべてを対象として、11月18日に泗水公民館の1箇所で開催しました。また、昨年度に引き続き、各種団体との意見交換会を11月21日に行いました。

報告会には、47人の市民の方に参加いただき、令和元年6月及び9月議会定例会での主な審議事項について、議会運営委員会委員長、各常任委員会委員長が説明し、質疑応答を行いました。

会場で行ったアンケートの結果から「市民の皆様からの市議会議員の返答がどれもこれも中途半端な解答にっかりさせられた。もうちょっと明確な返しがほしかったと思います」「今回は議会報告会に初めて参加。市議会審議事項について議員さんも大変だろうと感じました。市の情勢が良くなる方向を望んでいます。議員さんも大変かと思いますが、質の良い方向に移行される事を期待しています。頑張ってください」「建設的な議会として活動して欲しいと思います」「議員さんと話しをする機会があまりありませんので、何か気安く話される様な場があれば、ありがたいです。(だれでも議員と協力し合える場もほしいです。)また、通年議会とか夜間議会なども考えて下さい」「計画については目標数字を、結果については成果数字を示して具体的な説明をしてほしい。議員は市民の代表、個人の意見で物事を決めてはならない」「未解決事項の市図書館の椅子購入について市民の声を取り集める。(議会には「是」がない)一般質問は要望がお尋ねか判断のわからない議員が多数あり、もう少し勉強して欲しい」などの意見をいただきました。

市民からのご意見と議会側の回答(当日回答できなかった案件)を一部掲載します。

なお、市に対するご意見・ご要望については、執行部の回答を掲載しています。

その他の内容については、「菊池市議会報告会報告書」を市ホームページへ掲載し、各支所や各公民館にも設置しますのでご覧ください。

【議会運営委員会及び各常任委員会報告に関する質疑等】

- ① 菊池市役所泗水支所、旭志支所の工事請負契約に関連してだが、公共施設が多い。極端な考えで見直さないと財政改善はできないのでは。

(回答)

泗水支所は改修、旭志支所は建て替えということで予算審議をしている。

- ② 本年9月の定例会において、菊池市文化会館の設計委託料が計上されているが、耐震診断は平成29年度に行い適合していないのに、なぜ今頃か。もっと早く着手すべきでは。

(回答)

他の公共施設から行ってきたこともあり、目視により経過を見てきたとのことだが、指摘のとおりと思うところもある。

- ③ 医師会病院にいらしたマンモグラフィーは2Dか3Dか。電話で当時調べたが、ほとんどが3Dということだった。2Dは技術力を持った先生じゃないと発見が困難。ほかを削ってでも3Dをいれるべきだった。

※導入されているのは2Dでした。一部回答を踏まえてのご意見です。

【その他のご質問、ご意見、ご要望等】

- ① ベンリカーやあいのリタクシーについて、今の交通システムが菊池市にマッチしているか疑問に思っている。小型化して路線を増やすとか、乗りやすい時間帯設定にするとか、そうしたところから取り組むべきでないか。

(回答)

具体的なところは審議していない。ご指摘の点は執行部に伝えたい。

- ② 来年から水銀灯の製造販売が中止される。本市における今後の計画を知りたい。総合グラウンドはあれだけ数があるのに変わっていない。具体的な計画があるのか。

(回答)

後日、調査したところ、菊池公園多目的グラウンドナイター照明については、平成10年度中に完成しており、設置当初から水銀ランプは使用していない(メタルハライドランプ・高圧ナトリウムランプ使用)。長期的には他の園路等も含め、改修時期に併せ投資費用・電気代等を比較し、LED化も検討したい。

- ③ 一般会計総額で合志市に比べ菊池市は大幅に予算が使われている。議員定数についても今一度考えてくれたらと思う。

(回答)

9月議会で議会改革検討特別委員会を設置しており、その中で検討するようにしている。

- ④ 専門的な知識が年々必要な状況になってきている。職員は異動していくが、専門職の採用は考えているのか。また、AI等の導入も併せて考えられないか。加えて5Gのインフラ整備についての考えも聞きたい。5Gは田舎ほど必要である。本市を早くやっってもらう考えは。早めにやらないとどんどん遅れるので願います。

(回答)

市でも専門職の採用はあっている。5Gは老人福祉や交通手段であつたりと思うが、専門的なものを入れてやっていく必要があると考える。

- ⑤ 先日、キクロスでデジタル掛け軸が開催された。過去2回開催時、人が来ないイベントだった。なぜ、誰も止めろと言わなかったのか。なぜ、100万150万出してしまうのか。初市とか泗水の夏祭りとか旭志の元旦マラソンとか予算がない中やっている。議会が止めないとどうしようもないと思う。無駄なお金ではないか。それを審議してストップをかけていくのが議員ではないか。

(回答)

デジタル掛け軸は今回審議していない。今までやってみたことがない事業を「待て」ではなく、やってみてどうだったかを受けて次につなげるところは予算と決算の考え方があるから、次の判断に持っていきたいと思う。

(※実際の支出は26,400円でした)

- ⑥ 資料に「多数の外部委託がなされ」とある。なぜ、外部委託が多くなっているのか。

(回答)

外部委託が問題になったのは、システム改修のことであり、国の制度改正に併せ補正予算に何件も出ている現状である。議論の中でエキスパートを育成できないか議論した。適正価格の判断がしばらく金額の根拠を出していかなければと提言しており、どう反映されていくか1年様子を見なければ分らない状況である。

- ⑦ 地元で商売をしている方が少なくなっている。地元のために使うことを考えるなら、地元の方たちも頑張れるのではと思う。

(回答)

地元を使うことに関しては中小企業振興基本条例を県下で一番につくっているが、執行部には言っているつもりである。

- ⑧ 昨年の議会報告会で、総務文教常任委員長より「大津町の図書館でも1脚10万円のイスを30脚購入されている」との発言があつたが、それは事実か。

(回答)

正確には、現在のカタログ価格では10万円程度のイスでありますと言わなければならないところを不十分な説明であり、深く訂正させていただきますという旨の菊池市議会報告書により、お詫びと訂正をさせていただいている。市民全体には周知できていないと思うので、この場を借りてお詫びと訂正させていただきたいと思っている。

- ⑨ 中央図書館の閲覧用イスに関して、今年5月に各議員に対し公開質問状を提出した。賛成4人、反対5人、無回答10人だった。無回答は納得できない。これまでの経緯を話し、増額が税金で支払われたことを伝えると全員憤りを持たれる。執行部をチェックするのが議会の役目なのに何のために議員がいるのか。私はそれは許せない。せひとも100条委員会を設置して真実を明らかにしていただきたい。何のために誰のために議員になられたのか真剣に考えてもらいたい。

(回答)

公開質問状の件は返事するしないは個人の自由だということで返答されていないのではと思う。100条委員会をこれまで認めてこなかったというのは各議員で考えた結果だと思う。



議会報告会 意見交換会

昨年から開催している意見交換会（11/21）では、JA菊池女性部、菊池市女性の会、菊池市PTA連絡協議会、菊池市商工会女性部、菊池市文化協会、菊池市スポーツ推進委員協議会、市内学校に勤める教職員、市内保育園の先生の8団体から77名に参加していただきました。

6つの班に分かれ、班ごとに設けられたテーマに沿って意見交換を行い、交換会の終わりに話し合った内容を各班から発表していただきました。

【班ごとのテーマと出された意見（抜粋）】

1班・2班・3班

「皆様の団体からの要望、その他」

- 同じようなイベントをJAと市が行っているが、一緒にやれるものは共同で行えば費用の分担もできるのではないかな。
- 保育園給食の副食費の全面補助か一部補助を望む。
- 冬場の下校時は真っ暗なため、小学校の運動場に灯りが欲しい。
- 班蛇口湖ポート場をより利用しやすくするために改善してほしい。（ボートの上げ下ろしを楽にできるレールをつくるか、駐車場の整備等）
- 研修時に市役所所有のバスを借りる時があるが、その貸出基準が不明確。団体によって差があると思う。
- 予算執行の際にもっと柔軟に条件を整えてほしい。物品購入の際に、指定業者しか購入できず、支出が増える場合がある。
- 県下でも市域の広い本市の生活手段でもある交通網の整理について
- 買い物難民への対策

「人口減少対策、ふるさと納税の取り組み」

- まず、若者が地元に残るように働き口を確保してほしい。結婚して出産するにも働く場所が必要。そのための企業誘致も必要だと考える。
- 交通の便が悪い。バスや電車の路線の再復活を願う。
- 返礼品をもらった人たちの感想をどんどん公表していく。

4班・5班・6班

「菊池市の良いところ、悪いところ、その他」

- 温泉があり、自然が豊かで素晴らしい。
- 学校歯科保健事業の補助があり助かっている。継続してほしい。
- 生涯学習センターが出来て歴史の勉強が楽しみ。街の中も明るくなった。
- 子どもの医療費が15歳まで無料。
- 交通の便が悪い。特に中山間地域や高校への通学時。
- 温泉を活かした場所がない。観光するところがない。
- 各施設を使用するにあたり、受付の仕方に問題がある。
- 子どもたちのことに協力的。人情が厚い。
- 交通の便が悪い。電鉄の復活を！通学手段が少ない。
- 4市町村まとまりがない。

「現在と将来の議員定数、投票率アップのための取り組み」

- 人口減少とともに減らす。
- 定数は現状維持だが、女性議員の増加望む。
- 議員が市民から憧れられて、なりたいと思われるようになれば良い。
- 中学校校区5区×2名=10名。
- 20人から16人。
- 報酬を減らして定数を増やす。
- 女性議員を増やしたい。
- ジャンル分けした当選枠をつくってはどうか（年代、男女、職業等）
- 人間関係が希薄化してくると社会参加へのハードルが高くなると思われるので、低年齢のうちから関心を持つ取り組みをする。
- 若者の投票率を上げるためスマホからのインターネット投票

また、会場で行ったアンケートの結果から「本日の会で出た要望を1つでも多く実現していただければと思います。こういった場が職種別や年齢別など、対象をしばって行われると、より議会への関心が高まると思いました」「ガンバレ！議員内でもめてる場合じゃない！」「透明性のある（個人議員）情報。公約の実現の有無をはっきりしてほしい」「もっと議員さんと市民の距離が近くなる様に願います。議員さん達の仕事、役割などを小学生のうちから分かる様に公開してほしい」「議員定数について話し合いましたが、いろいろの角度から考える事ができ、今後の後輩への働きかけを取り組む展望が見えやすくなりました」などの意見をいただきました。

この取り組みについては、来年度も開催を予定しています。

議会報告会及び意見交換会でいただいたご意見やアンケートの内容については、今後の議会運営に反映するよう努めていきます。



常任委員会研修報告

福祉厚生常任委員会 日程 令和元年10月16日～18日

【三重県いなべ市】「児童虐待防止対策」について

いなべ市では妊娠前期から途切れのないさまざまな取り組みを通して、支援の必要な親子を「見つけ」、連携して「見守り」、協働して「支援する」ことで、子育て家庭の孤立化を防ぎ、虐待防止につなげている。

具体的には、子育ての不安や悩みを聞き、親子関係・養育環境等の把握をおこない、親子の状況に応じて必要な情報を提供し、併せて親子の状況を継続して把握することを心がけている。子育て支援センターをプラットフォームにしなから、課題のある親子の支援を課の枠をこえて一本化して捉え、前後の事業にいかに関係機関と連携していくか、とても参考になる研修であった。

【三重県いなべ市】「元気づくりシステム」について

「元気づくりシステム」は、医療費削減や、健康増進・介護予防などの公衆衛生の観点、さらには地域づくりの観点から、住民の力を活用した超高齢社会の切り札として注目を浴びている。健康を維持し、将来、介護状態にならないよう、ストレッチ体操、ウォーキング、ボール運動などを取り入れた健康増進・介護予防運動を効率的・効果的に市民へ普及させる仕組みで、この取り組みを継続してきた成果として介護認定率は15.32%と全国平均の18.0%を下回り、健康寿命の延伸につながっている。

本市でも「いきいき100歳体操」の普及・拡大がおこなわれているが、現在の取り組みをさらに良いものとし、長く続けていくために参考とすべき点が多くあると感じた。



▲いなべ市視察状況

【三重県津市】「障がい児等生活支援ファイル『はっぴいのーと』」について

「はっぴいのーと」の利用対象者は、18歳以下の市内に在住・在学する障がいのある子ども、または発育・発達に心配がある子どもの保護者となっており、障がい児をもつ親御さんが進学や受診、相談などの度に子どもの成育や現状について説明を繰り返さねばならないことに負担感や困難さを抱えていたことから「乳児期から青年期に至る成育歴や生活・医療情報を関係機関で情報共有ができるような記録冊子」として作成された。

「はっぴいのーと」を通して、関係機関がネットワークを構成し、地域全体で障がいのある子どもや支援を必要とする人を、応援していく社会をつくることを目指しており、障がいのある子どもやその家族への生活支援については、本市においても同様の課題であるので、取り組み等を参考にしながら考えていく必要があると感じた。

熊本県北市議会連絡協議会

熊本県北市議会連絡協議会（会長・柁原賢一菊池市議会議長）が、11月13日に菊池市役所で、県北6市の議長及び事務局長並びに顧問の熊本市議会議長など23名が出席して開催されました。

本会は、県北市議会の議長等が一堂に会し、情報及び意見交換等を行うことにより、相互の連携強化及び議会運営の円滑化に資することを目的に、持ち回りで毎年開催されています。

研修会では、講師に菊池市政策企画部 企画振興課 菊池一族プロモーション室の佐伯明日香氏を招き、「はじめての菊池一族」と題して、講演会がありました。佐伯氏は「菊池一族の関連史跡のある自治体は全国に30ヶ所以上あり、総人口は約650万人である。また、菊池（菊地）姓の方も全国に約30万人おり、そのほかにも、菊池にルーツを持つ方々が大勢いる。こういった方々から、死ぬ前に一度でいいから菊池市に行ってみようといった内容の電話を、過去に何回もいただいたことがある。このように外から憧れの視線をいただく一方で、菊池一族のことを内部の人間が知らないなんてもったいないということを、市民の皆さんにお伝えしているところである」と話されました。



議 会 の 動 き	11月	5	火	議会改革検討特別委員会／岩手県遠野市議会より行政視察「菊池グローバルビレッジ構想について」
		13	水	熊本県北市議会連絡協議会（菊池市）
		14	木	総務文教常任委員会所管事務調査
		18	月	議会改革検討特別委員会／議会報告会（泗水公民館）
		21	木	議会運営委員会／月例会／議会報告会<意見交換会>（菊池市文化会館）
		29	金	令和元年第3回定例会～12月20日
	12月	1	日	西米良菊池祭（宮崎県西米良村）
		12	木	議会運営委員会
		20	金	全員協議会／議会運営委員会
		24	火	議会改革検討特別委員会
	1月	14	火	議会広報特別委員会
		15	水	議会報告会運営会議
		17	金	菊池市議会議員研修会／総務文教常任委員会所管事務調査
		20	月	議会広報特別委員会／月例会／熊本県市議会議員研修会（熊本市）
		21	火	議会改革検討特別委員会
		22	水	三重県鈴鹿市議会より行政視察「きくちあいのりタクシーについて」
		26	日	東京泗水会（東京都）
		28	火	議会運営委員会／議会運営委員会視察研修～30日（広島県府中市・岡山県笠岡市）
		29	水	徳島県吉野川市議会より行政視察「①新規就農支援施策、②耕作放棄地対策、③農業後継者対策について」

議会傍聴をお待ちしています！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継でご覧いただけます。

12月定例会においては延べ90名の傍聴がありました。

3月定例会は2月21日（金）開会予定です。



議会をインターネットで！

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただくと議会録画映像を見ることができます。

使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局／Tel.25-2325

菊池市議会 議会映像 検索



議長交際費を公表します

議長交際費の令和元年10月1日から12月31日までの支出状況を公表します。議長交際費は、議長が市議会を代表して対外的な活動をするために必要な経費として認められており、その支出にあたっては、社会通念上妥当と思われる範囲内にとどめるよう努めております。

議長交際費の支出状況

交際費の項目	件数	金額	詳細
会費	2件	15,000円	公的性格を有する団体との協議会費及び負担金
その他	3件	13,800円	他自治体への研修および議長会等の経費
計	5件	28,800円	

菊池氏の遺徳をしのび、
菊池精神を後世に伝える

第64回 西米良菊池祭

菊池市の姉妹都市である宮崎県西米良村において“第64回菊池祭”が、令和元年12月1日に西米良村大字村所“菊池公墓前”において開催されました。

菊池市からは議長を含む議員5名と、市長、教育長、文化協会の皆さんが参加しました。

菊池祭は、昭和15年に隈府町（現菊池市）住民からの強い要望により、町長として就任され菊池の町を治



められた、菊池武夫公の墓前祭です。毎年、菊池武夫公の命日に合わせて行われています。

※西米良村は、16世紀はじめに入山した菊池一族が、その後400年にわたって統括したところで、その郷土を愛する「菊池精神」は今も村民に受け継がれている。



令和2年3月定例会日程の予定

月 日	区 分	日 程
2月21日	本会議	開会・会期の決定・議案上程・提案理由説明
(2月22日～26日 休会)		
2月27日	本会議／委員会	質疑・委員会付託／予算決算常任委員会
2月28日	本会議	一般質問
(2月29日～3月1日 休会)		
3月2日	本会議	一般質問
3月3日	本会議	一般質問
3月4日	本会議	一般質問
3月5日	委員会	常任委員会(予算決算分科会)・総務文教・福祉厚生・経済建設
3月6日	委員会	常任委員会(予算決算分科会)・総務文教・福祉厚生・経済建設
(3月7日～8日 休会)		
3月9日	委員会	常任委員会(予算決算分科会)・総務文教・福祉厚生・経済建設
3月10日	委員会	常任委員会(予算決算分科会)・総務文教・福祉厚生・経済建設
(3月11日～15日 休会)		
3月16日	委員会	予算決算常任委員会
(3月17日～18日 休会)		
3月19日	本会議	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※会期中に日程が変更になる場合があります。

編集後記

令和最初の正月は、元旦からきれいな日の出を拝むことができたばかりか、穏やかに新年を迎えることができ嬉ばしく思います。

今年は十二支の最初のネズミ年で、新しいスタートを切る節目として挑戦するのにピッタリではないでしょうか。

1月12日(日)に令和初の新成人のお祝いが菊池市文化会館で華やかに行われました。泗水中出身の新成人でもあるプロボクサーでWBOアジアパシフィックフェザー級王者の森武蔵君が、サプライズの挨拶をされました。感謝する気持ちや精進する信念の強さが伝わり感動しました。

これからも市民のみなさまがわかりやすく興味を持てるような「議会だより」をお届けいたしますので、よろしくお願いいたします。
福島 英徳



■議会広報特別委員会■

委員長／水上 彰澄
委員／田中 教之

副委員長／緒方 哲郎
委員／福島 英徳